

令和4年度 学校関係者評価書

学校名 北海道おといねっぴ美術工芸高等学校

組織名	学校評議員会
評 価 者	
学校評議員	
学校評議員	

1 学校教育目標

- 造形体験を重ね、創造力を育成する。
- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める。
 - 個性を生かし、豊かな自己実現を目指す。
 - 自然に親しみ、情操を豊かにする。

2 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を目指す。
- (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己実現に向かい取り組む姿勢を身につけさせる。
- (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し実践や研修を推進する。

※学校関係者評価基準 A=5:充分 B=4:適当 C=2:不十分 D=1:要検討

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の活用推進 ・職員評価制度の活用推進 ・職員研修の活用推進 ・スクールポリシー等の作成と確立 	A	A	A	
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	A					(5.0) (5.0) (5.0)
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・生徒を対象としたアンケート実施継続を評価。 ・適切に対応されているように感じられます。 							
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の改善 ・授業改善の推進 ・学習意欲の醸成と学習習慣の確立 ・朝学習を活用した礎学力の定着 ・ICT機器の有効活用の検討 ・学力定着度合いの測定と学カケアの充実 	A	A	A	
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	A					(5.0) (5.0) (5.0)
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	A					
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境の充実を評価。 ・積極的な指導が行われていると思います。 ・補習、ICT教育など心強く感じますが、先生方の負担が過剰にならないようお願いいたします。 							
生徒指導	6 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・安全教育の推進 ・生徒理解の深化 ・教育相談の充実 ・子供理解支援ツールの有効活用 	A	A	A	
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	A					(5.0) (5.0) (4.8)
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	A					
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の暖房や食料備蓄は今後の課題。 ・現代の若者は良くも悪くも素直なようです。時に権威を疑う精神も必要でしょう。生徒指導にどう結びつけるかは難問ですが。 							
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒観察、理解の推進 ・いじめ対応の組織的取組 ・寮との連携 	A	A	A	
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策の組織的取組は前進。 ・生徒の認知度をアンケート等で評価しては？ ・SNSの時代の「いじめ対策」に様々な方策があることに感心します。ただ、器はあるが中身がない状態に陥らないよう普段の見直しが必要だと思います。肝心な時につながらない「命の電話」にならないように。 							
学校行事・課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化 ・寮生会活動の活性化 ・リーダー研修の充実 	A	A	A	
	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	A					(5.0) (5.0) (5.0)
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行事が思うように出来ない中でも、多様な活動が展開されていることに安堵します。教職員の皆様の御尽力の結果でしょう。 ・クロスカントリースキー部の休止については大変残念です。国際公認コースという恵まれた環境を活かすべく村当局との協議継続を望みます。 							

進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 計画的進路指導の改善,推進 進路情報の収集 進路開拓の推進 情報提供の工夫と進路意識の醸成 インターンシップの充実 異校種・産学連携の推進 進路の手引き、キャリアパスの活用の推進 ICT技術を活用した進路相談体制の推進 	A	A	A
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	A				
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップなど、今後も北大研究林を御活用ください。また、常時学生がいるキャンパスとは異なりますが、大学がどのような場であるかを知ることでもできると思います。そのような観点でも御協力できます。 						
健康安全指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の工夫改善 安全教育の推進 危機管理マニュアルの見直し 感染症対策の一層の徹底 教育相談後のフォローアップ体制の構築 関係機関との連携 	A	A	A
	16 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	A				
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害等多様な生徒への対応は課題。 寮制度の学校でのコロナ禍対応はきわめて大変だったろうと察します。学校当局の取り組みに敬意を表します。同時に多くの組織・機関と共有すべき貴重な教訓が得られたであろうとも想像します。 						
研修	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な校内研修の充実 研修成果の還元 	A (5.0)	A (5.0)	A (5.0)
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の資質向上には研修のほかにも(他校の先生方を含めた)自主的な勉強会なども有効でしょう。おそらく、そのような場もあるとは思いますが、是非後押しをお願いします。 						
組織運営 保護者、地域住民等との連携	19 共通意識を回り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織間の情報共有化 互いに話しやすい職場環境づくり PTA活動の充実 HP等情報発信の工夫改善 地域・保護者との連携の充実 部活道指導等,業務の見直し 働き方改革のより一層の推進 	A	A	A
	20 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	A	A				
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	A				
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	A				
	23 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ブログ等の情報発信強化を評価。資料請求増との関連に注目しています。 コロナ禍で思いがけず分かったことはオンライン交流が比較的楽に行えることでした。PTA・同窓会活動にも活用できそうです。大半の卒業生は音威子府を離れますが、当地に縁のある人として、長く接触が続くといいなと思います。各地の様々な分野で活躍する同窓生との交流は学校の魅力につながるでしょう。 						

※自己評価 評価基準 A=5：充分である B=4：概ね充分である C=2：不十分である D=1：改善を要する

4 学校関係者評価におけるご意見等

<ul style="list-style-type: none"> 自己推薦入試導入後の入学者の変化にも注視が必要。 多様な生徒への対応は今後の課題。 制服問題に生徒が積極的に取り組んでいるところに感動しました。各地から生徒が集まり、寮生活を送るこの高校では自主・自治の精神が特色のひとつだと思います。授業・行事・部活動とは違った形で自分たちの学校を作り上げる意識が高まっていくのではないかと感じています。
